



# マダラ北海道太平洋 令和3年度資源評価結果

# 生物学的特性

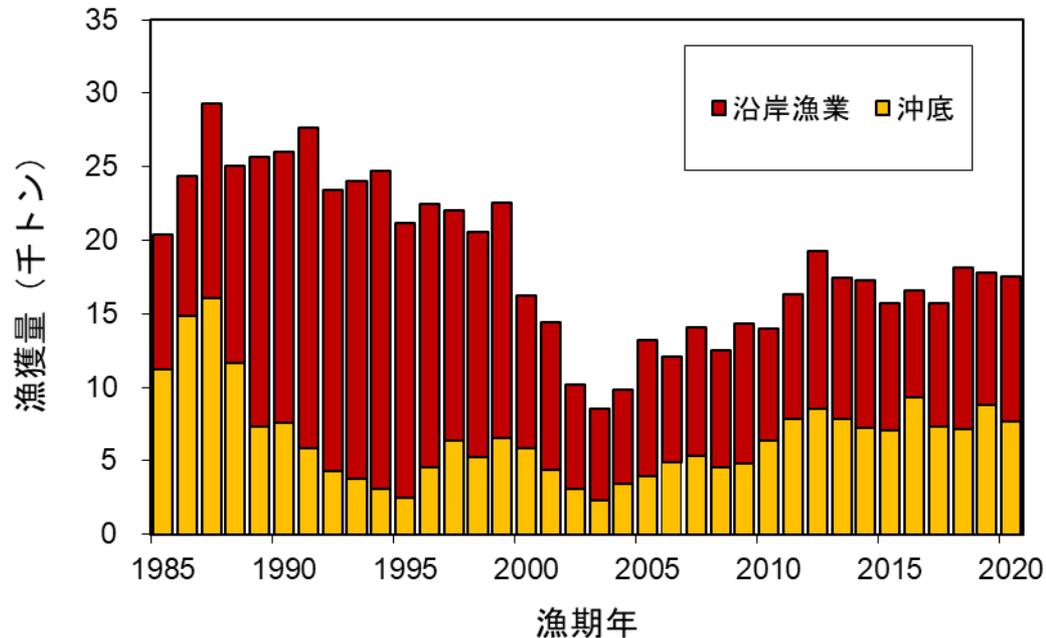


## 生物学的特性

- 寿命: 6歳以上
- 成熟開始年齢: 雄3歳、雌4歳
- 産卵期・産卵場:  
12月下旬～翌年3月、  
分布域全体に散在
- 食性:  
漂泳生活をしている幼稚魚期  
は主にカイアシ類、  
底生生活に入ってからには主に  
魚類、甲殻類、頭足類、貝類
- 捕食者: 海獣類

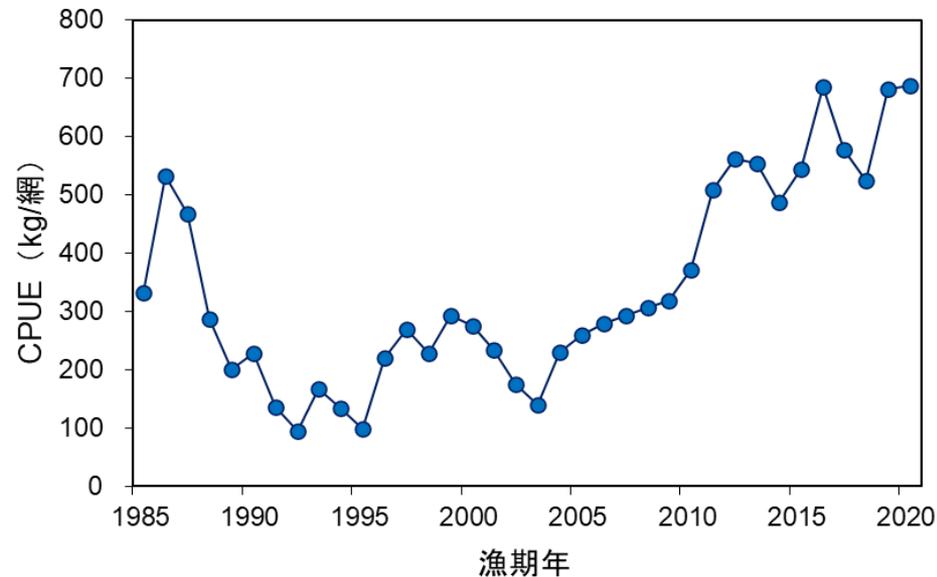
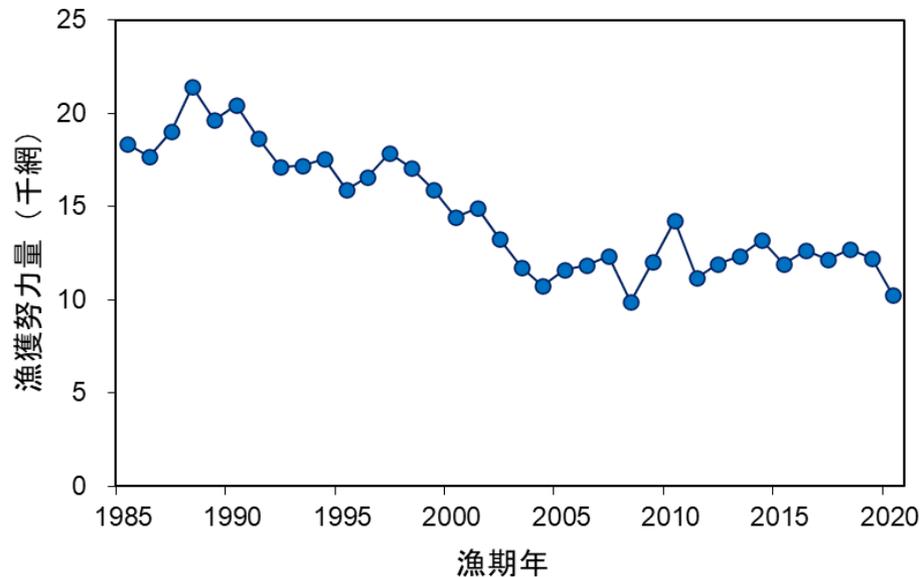
・ほぼ周年漁獲されるが、冬季～春季に漁獲量が多い

# 漁獲の動向①



- 2020年漁期（4月～翌年3月）の漁獲量は1.8万トン（沖合底びき網（沖底）0.8万トン、沿岸漁業1.0万トン）
- 沖底の割合は2010年漁期以降4～6割
- 沖底漁獲量の大部分は100トン以上のかけまわし船

# 漁獲の動向②

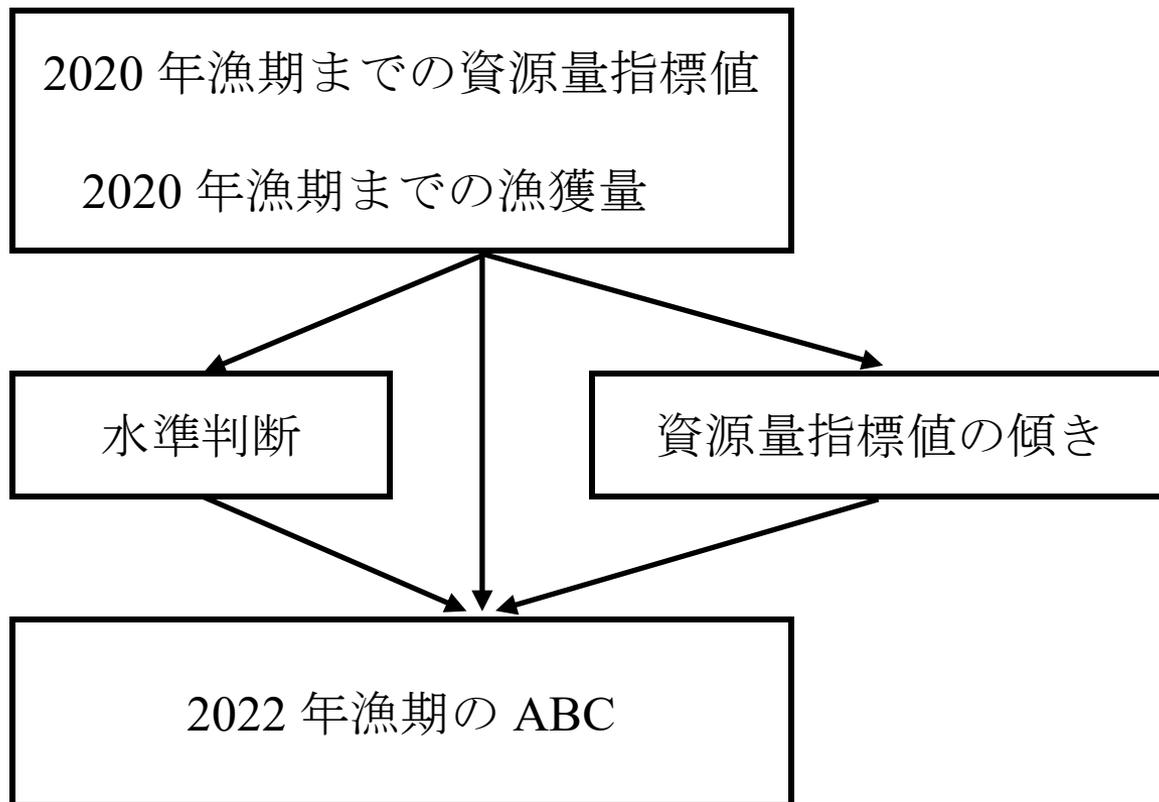


- 100トン以上の沖底かけまわし船の漁獲努力量は1980年代後半以降減少し、2002年漁期以降ほぼ横ばい
- 100トン以上の沖底かけまわし船によるマダラのCPUE(沖底CPUE)は2011年漁期以降高水準

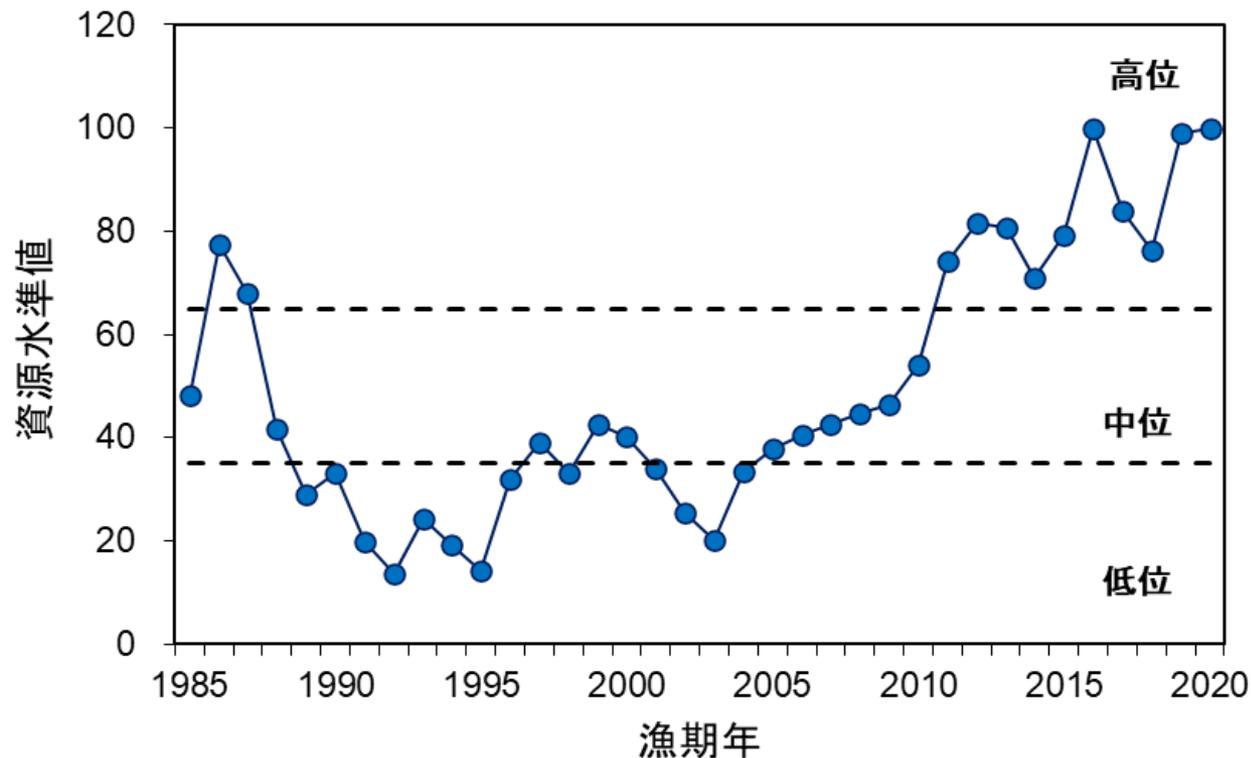
※漁獲努力量: マダラの漁獲があった操業(有漁操業)の曳網回数

※CPUE: 有漁操業の1網当たり漁獲量

# 資源評価の流れ



# 資源の動向



※水準区分 低位／中位：資源水準値35、中位／高位：資源水準値65  
(1985年漁期以降の沖底CPUEの平均値を50とし、各年の沖底CPUEの値を算出)

- 資源水準： 2020年漁期の資源水準値は100であり、「高位」
- 資源動向： 直近5年間の資源水準値の推移から「横ばい」

# 資源評価のまとめ

- 資源水準は高位、動向は横ばい
- 沖底CPUEから求めた資源水準値に基づいて資源状態を判断

## 2022年漁期ABC

管理基準	Target/Limit	2022年漁期ABC (百トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値からの増減%)
1.0・Cave3-yr・ 1.13	Target	161	—	—
	Limit	201	—	—

- ABC算定規則の2-1) により、 $ABC_{limit} = \delta 1 \cdot Ct \cdot \gamma 1$ で計算
- $\delta 1$  : 1.0 (高位水準での標準値)
- $Ct$  : Cave3-yr (直近3年間の平均漁獲量)
- $\gamma 1$  : 1.13 (沖底CPUEの直近3年間の傾きと平均値から求まる係数)